

商品名 ヘパリンCa皮下注2万単位/0.8mL「サワイ」 医薬品基本情報

薬効	3334 ヘパリン製剤	一般名	ヘパリンカルシウム注射液
英名	Heparin Ca	剤型	注射液
薬価	1068.00	規格	20,000単位1瓶
メーカー	沢井製薬	毒劇区分	

ヘパリンCa皮下注2万単位/0.8mL「サワイ」の効能・効果

汎発性血管内血液凝固症候群の治療、(四肢動脈血栓塞栓症、静脈血栓症、心筋梗塞症、脳塞栓症、肺塞栓症、血栓塞栓症)の(予防、治療)、(手術後、手術中)の血栓塞栓症の(予防、治療)

ヘパリンCa皮下注2万単位/0.8mL「サワイ」の使用制限等

- 頭蓋内出血又はその恐れ・疑い、咯血、血管障害による出血傾向、月経期間中、血小板減少性紫斑病、血友病、手術時、出血、消化管潰瘍、性器出血を伴う妊産褥婦、尿路出血、血液凝固障害〔汎発性血管内血液凝固症候群＜DIC＞を除く〕、出血又はその恐れ・疑い、亜急性細菌性心内膜炎、重症高血圧症、重症糖尿病、大腸炎、内臓腫瘍、消化管憩室炎、外傷後日の浅い、中枢神経系の手術後日の浅い、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、HITの既往、ヘパリン起因性血小板減少症の既往、heparin-induced thrombocytopeniaの既往、重篤な腎障害、重篤な肝障害

記載場所	使用上の注意
注意レベル	原則禁止

ヘパリンCa皮下注2万単位/0.8mL「サワイ」の副作用等

- ショック、アナフィラキシー、血圧低下、意識低下、呼吸困難、チアノーゼ、蕁麻疹、脳出血、消化管出血、肺出血、硬膜外血腫、後腹膜血腫、腹腔内出血、術後出血、刺入部出血、重篤な出血、著明な血小板減少、HIT、脳梗塞、肺塞栓症、深部静脈血栓症、血栓症、シャント閉塞、回路内閉塞、著明な血小板数減少
- 過敏症、そう痒感、蕁麻疹、悪寒、発熱、鼻炎、気管支喘息、流涙、脱毛、白斑、出血性皮膚壊死、AST上昇、ALT上昇、骨粗鬆症、低アルドステロン症、発赤、紅斑、腫脹、硬結、局所疼痛性血腫
- ヘパリン起因性血小板減少症、HIT、heparin-induced thrombocytopenia
- 穿刺部位血腫、麻痺、血栓、致命的、コレステロール結晶塞栓症、CCE

記載場所	重大な副作用
頻度	頻度不明
記載場所	その他の副作用
頻度	頻度不明
記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明
記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

ヘパリンCa皮下注2万単位/0.8mL「サワイ」の相互作用

1. 薬剤名等：抗凝固剤

発現事象	本剤の作用が出血傾向を増強	投与条件	-
理由・原因	本剤の抗凝固作用と血液凝固因子の生合成阻害作用により相加的に出血傾向が増強	指示	注意

2. 薬剤名等：血栓溶解剤

発現事象	本剤の作用が出血傾向を増強	投与条件	-
理由・原因	本剤の抗凝固作用とフィブリン溶解作用により相加的に出血傾向が増強	指示	注意

3. 薬剤名等：血小板凝集抑制作用を有する薬剤

発現事象	本剤の作用が出血傾向を増強	投与条件	-
理由・原因	本剤の抗凝固作用と血小板凝集抑制作用により相加的に出血傾向が増強	指示	注意

4. 薬剤名等：テトラサイクリン系抗生物質

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

5. 薬剤名等：強心配糖体

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

6. 薬剤名等：ニトログリセリン製剤

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

7. 薬剤名等：筋弛緩回復剤

発現事象	本剤の抗凝固作用が増強	投与条件	-
理由・原因	スガマデクスナトリウム4mg/kgと抗凝固剤の併用中に活性化部分トロンボプラスチン時間（APTT）又はプロトロンビン時間（PT）の軽度で一過性の延長	指示	注意

8. 薬剤名等：アンデキサネット アルファ

発現事象	本剤の抗凝固作用が減弱しヘパリン抵抗性	投与条件	-
理由・原因	In vitroデータから、アンデキサネット アルファ（遺伝子組換え）がヘパリン－アンチトロンビン3複合体に作用し、本剤の抗凝固作用を減弱	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.